

(仮称) 守谷市総合公園都市計画原案の説明会 会議録

1 日時：

〈市民向け説明会〉

令和5年8月19日(土)			
第1回	10時00分 ～11時00分	野木崎・大木・大柏	出席者37名 (うち記者1名)
第2回	13時30分 ～14時30分	みずき野・小山・赤法花・同地・ 中央・百合ヶ丘・ひがし野・本 町・松並・松並青葉	出席者16名
令和5年8月20日(日)			
第3回	10時00分 ～11時00分	松前台・久保ヶ丘・薬師台・御所 ヶ丘・大山新田・板戸井・立沢	出席者13名
第4回	13時30分 ～14時30分	けやき台・松ヶ丘・美園・高野・ 乙子・鈴塚	出席者3名
			出席者合計 69名

2 場所：

守谷市役所 大会議室

3 質疑回答

○都市計画決定について

質疑) 公園の名称について、都市計画決定の時しか番号が出てこないもので、後からもわかるようにしてほしい。

回答) 都市計画図に都市計画決定の名称及び番号が載る。通常時は、立沢公園のように通称名を使用する事となる。

質疑) 下水道区域はなぜ入れるのか。

回答) 下水施設が必要なので区域を拡大する。

質疑) 守谷市公共下水道となっているが上水道はいらぬのか。

回答) 上水道は公益事業であり、公共事業ではない。そのため、都市計画決定事項ではない。

質疑) 下水道の処理能力は問題ないのか。

回答) 処理能力に問題はない。

○ヤクルト球団について

質疑) ヤクルトが来ないということはないのか。

回答) 進出の合意は得ている。基本協定では、事業スキーム等について締結する予定である。

○排水関係について

質疑) 排水関係について、冠水した場合、排水機場から利根川への強制排水ができないと聞いている。多くの人が集う場所である。どう考えているのか。

回答) 第2排水機場については、氾濫計画水位を超えた場合、強制排水はできない。今年度から利根川堤防の強化工事が始まり、河川の氾濫に対する防災対策となる。また、堤防強化後には第2排水機場の改修について利根川上流河川事務所と協議を行う予定。ただし、いずれにせよ冠水時の強制排水はできない。

質疑) 大変水捌けが悪い土地であると思う。排水関係についてはどのようになっているのか。

回答) 公園単体では、まずは調節池を設けて、一時的に貯留し大野川に放出する形をとる。公園の整備に合わせて野球場等の建物ができるためその分の調整はこどこなう。また、本市ではグリーンインフラという取組を実施しているためそれらを活かして、このほかの貯留施設も検討していきたい。防災面では、水害対策としては難しいが、地震災害の避難場所としていきたい。

○アクセスについて

質疑) アクセス道路はどうなるのか。

回答) 主なアクセス道路は、株式会社明治側の道路からを考えている。また、現道の拡幅も含めて、検討している。これまでの説明会でも意見をいただいているので、竜ヶ崎工事事務所と調査を始めたところである。供平板戸井線が計画に間に合うようにできていればそちらからを考えるが、供平板戸井線の供用は時期的に間に合わないため、調査を含めて道路拡幅も検討する。

質疑) 供平板戸井線は、ヤクルトが来るまでにできるのか。

回答) 供平板戸井線の供用開始は、(仮称)守谷 SA スマート IC 周辺土地区画整理事業の完了予定である令和17年度となる。それまでは、既存道路の拡幅等で対応する事となる。

質疑) 朝夕の渋滞が激しくなっている。総合公園が完成したら、ますます交通量が増えるだろう。既存道路の拡幅だけでは、対応が難しいのではないかと。

回答) 供平板戸井線は県道であり、管轄が県である。市からは、現在も早期工事について働きかけを行っているが、今後も要望を続けていく。

質疑) 駐車場台数が多いが、道路拡張も考えているのか。

回答) 現在、竜ヶ崎工事事務所と調査を行っている。すべての道路を拡幅する事は出来ないが、隅切り等も含めて検討する。令和9年2月を目標に検討・計画していく。

質疑) 交通量が増え、通学路となっている道を抜け道として走行する車が増えると危険である。新守谷駅から総合公園へ繋がる新しい都市計画道路を検討してほしい。

回答) 供平板戸井線が完成すれば、守谷市内の推定交通量に対して十分な道が確保できる計算である。そのため、新たな都市計画道路の検討ではなく、必要があれば既存道路の拡幅等を検討していく。

質疑) 道が凸凹しており、自転車での通行が危険な箇所もある。総合公園へ自転車で行けるような整備をお願いしたい。

回答) 通行については、竜ヶ崎工事事務所と調査中である。不具合のある箇所について、整備等検討していく。

○盛土について

質疑) 総合公園予定地の隣に計画している工業団地は盛土すると聞いているが、総合公園についても盛土するのか。

回答) 総合公園に関しても、平均2mの盛土をする予定である。

○費用について

質疑) 市の費用はなるべく使わないようにと言っていたが、今はどの程度の整備費を想定しているのか。国の補助金はどれくらい出るのか。

回答) 施設内容も決まっていない今は、概算でしか工事費が出ない。今後の基本計画において整備費等を算出していく。Park-PFIによる民間活用の利用についても検討していく。補助金については、国費で用地費の3分の1、整備費の2分の1が申請できるが、国の予算もあるため、全額付くかは分からない。

質疑) 10月以降に整備費等が分かるという事か。

回答) 基本協定締結後に Park-PFI 等の活用も含めて検討していく。

質疑) 面積の 20.8ha については、ヤクルト部分も含むのか。

回答) ヤクルト部分も含む。市民説明会での意見等を踏まえ、当初より面積が増えている。

質疑) 総合公園区域について、用地買収はすべて市が行うのか。ヤクルト施設部分は、市からヤクルトに売ることか、それとも貸すのか。

回答) 用地買収はすべて市が行う。ヤクルト施設部分については、貸す事で調整しているが、協議中のため決定ではない。

質疑) 予算化のスケジュールは。

回答) まず、民間活力の活用を検討するため企業へのサウンディング調査等を発注する。10月末以降にヤクルトと基本協定を締結し、12月に基本計画等の発注となる。順を追って進めていきたい。

○土地の買収について

質疑) (耕作者の立場の意見として) 田んぼを借地して農業を行っている。来年はどうなるのか。

回答) 説明会後に個別に回らせていただく。買収は来年度4月から行う予定であるため、来年は、耕作できないがそれまでは最小限の管理をしてほしい。

質疑) 地権者イコール耕作者の場合は管理の程度を最低限にするのは簡単であろうが、借地はどうなるのか。通常は、面積単価に借地面積をかけることによって算定した地代を秋に支払い、区切りをつける。支払い後の管理を行ってくれというのと、補償はないままで管理をすることになってしまう。3月までの管理は地権者にやってもらう予定なのか。

回答) 市では、耕作者の借地は年度管理と考えていたのもともと来年1月・2月でご案内する予定であった。本日のいただいた意見の内容を踏まえて内部で調整して個別にご連絡する。

○その他

質疑) 説明会は、何回にも分けるのではなくまとめて開催してほしい。公園施設の内容については、いつどの部署が決めるのか。

回答) 説明会は、市民の皆様からの意見を聴収するため、必要に応じて開催していく。スケジュールについてだが、基本協定が遅れており10月以降に締結となる。その後、公園施設等の検討をしていく事となる。なお、協定締結については、広報等で皆様にお知らせする予定である。総合公園の担当は企画課である。

質疑) 子ども達のためにプールを作って欲しい。

回答) 施設内容については、今後検討していく。

質疑) 5ページに人口推移の予測があるが、この後もっと増える事を想定しているのか。そうなった場合、また公園が足りなくなるのか。

回答) 最終的には、守谷市も人口が減少していく見込みである。今回の総合公園整備で、十分な公園面積が確保できる。

質疑) 上位計画である都市マスタープランでの位置付け、保健福祉拠点とは何か明確にすべきである。

回答) 保健福祉拠点としてヘリポートを作るなど、防災施設を作ることも検討していく。

質疑) 周辺の市町村でも、インターチェンジ周辺で様々な取り組みを行っている。このような流れの中で、守谷市としては成功させるべき事業と思う。工業や産業などの誘致として、ヤクルト工場も含めて検討すべきである。しかしながら、市民の負担が少ないように行ってほしい。

回答) 今後ともご協力をお願いする。

質疑) 民間提案の原案を市民が比較しながら判断するような機会というのはあるのか。

回答) 市民への説明は随時行っていくが、民間提案の内容は有識者を交えた委員会を設置してプロポーザル方式で行うことを予定している。

質疑) スマートインターの整備の有無で計画が大きく変わる部分があると思われる。そもそものヤクルト誘致についてもこれを前提に進んでいるようなところがある。協議が遅れているような説明があったが、国や県に働きかけるなどして、整備時期を早めるようなことはできないのか。

回答) スマートインターチェンジはネクスコの管轄になるため、協議の上で進めていくことになり、令和9年の2月には間に合わないのが現状となるが、国や県への働きかけは現在も継続して行っている。

質疑) 区画整理事業はどのような形で行う予定なのか。

回答) 組合施行の区画整理事業として行う予定。

質疑) ふるさと納税などで市の財政に余力があるのであれば、周辺の田んぼを含めて全部買って、産業としてヤクルトの工場などを誘致できるように働きかけるなどをしてもよいのではないかと。

いずれにしても頑張って進めてもらいたい。

回答) ご意見・ご提案として承知した。

以上